

議事概要記録

開催日時	平成 29 年 8 月 26 日 (土) 15 : 00 ~ 17 : 30	開催場所	済生会和歌山病院 7 階 多目的ホール
会議種別	平成 29 年度 第 3 回理事会	議長	畑 忠良
		書記	神藤 洋次
出席者 <敬称略>	竹中 正人、大石 博晃、畑 忠良、木下 博之、神藤 洋次、田中 規仁 蓬台 克之、丸澤 佳子、栗林 伴有、久保 光史、湊 健、脇村 小津江 田原 靖子、山本 須美子、相根 弘史、瀧口 良重、16 名		
欠席者 <敬称略>	稲垣 充也	オブザーバー	
次 第			
議事概要	<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会長報告 2. 第 3 回・4 回常務理事会報告 3. 事務局報告 4. 学術部報告 5. 経理部報告 6. 各種委員会報告 <ol style="list-style-type: none"> ① 公益事業活動 ② 定款・渉外 ③ 災害対策委員会 ④ 精度管理 ⑤ データ標準化 ⑥ 会誌編集 ⑦ ホームページ ⑧ 会報 ⑨ 月例行事予定表 ⑩ 和歌山支部連盟 7. その他 <p style="margin-left: 2em;">第 38 回和歌山県医学検査学会進捗報告</p> <p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. について 		
	決議事項 及び 継続事項	<p>定刻に、議長・畑 忠良より開会宣言があった。 冒頭、竹中会長より真摯な討議をよろしくお願ひしますと開会の挨拶があった。</p> <p style="text-align: center;">報告事項</p> <p>会長報告 日臨技関連</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 6 月 23 日に日臨技創立 65 周年・法人会 55 周年記念式典（霞山会館）があり 村田正吾元会長、竹中正人会長が厚生労働大臣表彰の授賞式に臨んだと報告が あった。 ② 7 月 22 日 日臨技理事会資料についての説明があった。 精度管理施設認証制度及び JCLS 共用基準範囲について動員要請があった。 会場は済生会和歌山病院 7 階講堂、講師は日本臨床検査技師会 精度保証認証 	

委員会 末吉茂雄先生に講演頂くと報告があった。

肺塞栓症における下肢静脈エコー研修会が開催され、この研修会は災害時に統一した検査法で行えるようにするのが目的で紀南病院 大前技師が参加すると報告があった。

③ 9月16、17日に和歌山県が担当で検体採取講習会が開催されると報告があった。
近畿支部関連

① 7月15日 近畿支部幹事会資料について説明があった。

会員移動に伴う年会費の取り扱いについて

日臨技から引き落とされる場合は4月以降の分を先払いになっているため、近畿は府県会費は同一なので1年だけは移動の技師会へ支払いが確認できれば移動先の技師会員となれると報告があった。

② 近畿支部研修会の企画申請の流れについて説明があった。

和臨技関連として

① 認知症対応力向上講習会 B（都道府県主催分）の受付が8月31日より始まると報告があった。

他団体関連

① 6月27日 病院協会理事長とコ・メディカル団体代表者懇談会を行ったと報告があった。

② 7月14日 知事・病院協会理事長とコ・メディカル団体代表者懇談会が中止となっており、開催されれば、和臨技は災害時にコ・メディカル団体間の連絡網構築を知事をお願いすると説明があった。

③ 8月21日 第22回県病院協会学術大会打ち合わせ会議があり、検査技師部門より8題の演題があると報告があった、また病院協会学術大会への動員要請があった。

木下学術部長より、次年度の検体採取の計画が分かれば教えて欲しいと質問があったが、まだ具体的には決まっていないと説明があった。

第3回・4回常務理事会報告

① 精度管理施設認証制度及びJCCLS共用基準範囲についての説明会について
メール会議にて承認されており下記の日程と内容で行うと報告した。

日時：平成29年10月21日（土）14：00～16：00

会場：済生会和歌山病院 7階講堂

講師：日本臨床検査技師会 精度保証認証委員会

千葉県がんセンター 臨床検査部 末吉 茂雄 先生

内容

1. 精度保証施設認証制度と JAMT QC における是正措置の取り組み
2. JCCLS 共用基準範囲の必要性について

② 平成29年度初級・職能開発講習会開催に伴う派遣人事について

今年度は大阪府技師会・兵庫県技師会が開催するため、和臨技として来年度以降の開催となると説明し、開催にあたり、事業計画や担当理事等などは継続審議と報告した。

③ 検査説明・相談のできる臨床検査技師育成事業の継承事業として、

『医療現場における職能向上のための臨床検査技師育成講習会企画担当者研修会』

- 開催に伴う派遣人事について、和臨技理事より1名研修会に派遣すると報告した。
- ④ 地域ニューリーダー育成研修会について和臨技理事より1名研修会に派遣すると報告した。
- ⑤ 日臨技全国学会のあり方について
(ご当地開催か都市部開催か含め、日臨技学会の開催法等々について)
- (1) 全国学会開催地選定方法についてはガイドラインに合致すれば開催場所はどこでも構わない。
- (2) 学会長の人選について、担当都道府県技師会より選出する。
- (3) 学会参加費については、会員と非会員では差を付けるが、演題提出時は筆頭発表者は会員、共同発表者は非会員でも掲載追加金は発生しない。
- 上記の内容で理事会にて審議すると報告した。

事務局報告

- ① 6月29日 e-ラーニングが本格稼働するので活用してくださいと報告した。
- ② 7月12日 サクラファインテックジャパンより後援依頼があり、回答書を送付したと報告した。
- ③ 7月25日 都道府県ニューリーダー育成研修会開催について、日臨技への回答期限の関係にてメール会議を行った。この研修会を平成30年3月31日までに開催するようになっていたため、和臨技では今年度は開催しないと回答したと報告した。
- ④ 8月7日 自然災害による被災会員に対する共催金等の支給申請手続き等について報告した。
- ⑤ 8月7日 学会管理マニュアル及び支部研修会運用マニュアルが改修されたことを報告した。
- ⑥ 和歌山糖尿病療養指導研究会に対して和臨技よりの世話人選出について山本理事山本理事推薦で丸澤理事を選出したと報告した。
- ⑦ 平成29年度賛助会員の申し込みが47社あったと報告した。

学術部報告

- ① 第20回学術部一泊合同研修会の活動報告があり、忌引きによる講師変更があり人件費に若干の変更があると報告があった。
参加者も70名あり、引き続き今回のように会員が多く集まる企画で続けて行きたいと報告があった。
- ② サテライト会場を用いた研修会についての運用規定について以下のように報告があった。
- (1) 対象研修会は当技師会会員に限る。
- (2) 参加費についてサテライト会場は無料、本会場は規定の参加費を徴収する。
- (3) 日臨技生涯教育履修は、サテライト会場については学術部研究班が実施する日臨技生涯教育履修登録の対象外とする。参加者本人が自己申請を行うことは自由とする。
- (4) サテライト会場の運用は、聴講を望むものが自ら行い、不備、不足はサテライト会場利用者の自己責任とする。

コミュニケーション事業

- ① 平成29年9月2日にサンシャイン牧場果樹園にてバーベキュー&ぶどう狩りを開

催す予定で参加者が 15 名と報告があった。

経理部報告

特になし

各種委員会報告

公益事業活動

平成 29 年度 ピンクリボン紀南との共催事業内容について以下の報告があった。
熊野本宮大社ピンクライトアップ：平成 29 年 10 月 8 日

- ① 熊野古道リ・ボーンウォーク
- ② 講演 (1) 白浜はまゆう病院 粉川 庸三先生
(2) 癌体験者 (FM 田辺) 芝崎 陽子さん
- ③ イベント
子宮がん体験者で大阪のシンガーソングライター 松田 陽子さん
- ④ 大鳥居ピンクライトアップ

HIV/AIDS 啓発活動及び HIV 即日検査について

平成 29 年 11 月 18 日に開催すると報告があった。和歌山県より HIV 検査と、今回は梅毒検査も行ってもらえないかと打診があったと説明があったが、検査法の組み合わせなどから継続審議となった。

医療セミナー in 和歌山と検査と健康展について

平成 29 年 11 月 11 日に和歌山労災病院 多目的共用室（災害医療研修棟 4 階）で医療セミナー in 和歌山 がん検診を受けよう！の内容は

講演 1 「子宮と子宮頸がんの話」

日本赤十字社和歌山医療センター 産婦人科副部長 山村省吾 医師

講演 2 「乳がん検診の現況と展望 ～その光と影～」

公立那賀病院 乳腺外科 科長 内藤古真 医師

検査と健康展の内容は

健康チェック：無料検査の実施（ストレス度やインボディ計測の予定）

健康や検査のパネル展示・顕微鏡等の体験・乳腺模型の触診体験

検査専門医による健康相談・臨床検査技師の知名度向上ブースの設置

と以上の内容で開催すると報告があった。

和歌山県担当の検体採取講習会準備状況について

実務員を公募した結果 10 名の応募があり理事を含め合計 14 名で担当すると報告があった。

竹中会長より実務委員の役割分担について質問があったが、担当理事より各実務委員に伝達されておらず、早急に対処するように要請があった。

定款・渉外

特になし

災害対策委員会

平成 29 年度 災害時連絡網模擬テストの結果について

1. 施設に配信するメールを定型文にする
2. 被災状況の一覧表
3. メール、FAX 以外の連絡手段
4. 情報収集方法

5. 支援等の報告用紙などの検討事項を今後、話し合っていきたいと報告があった。

精度管理

平成 29 年度の第 30 回精度管理事業スケジュールの報告があった。
和臨技精度管理協力者のスケジュール調査を行うと確認した。

データ標準化

特になし

会誌編集

第 45 巻「会誌和臨技」への投稿募集状況の報告があった。
賛助会員 47 社に対して広告に使用する版下を請求していくと報告があった。

ホームページ

特になし

会報

和臨技会報 69 号の掲載内容の報告があった。
終了した事業から早めに感想原稿を担当理事まで届けて欲しいと要請があった。

月例行事予定表

特になし

日本臨床検査技師連盟 和歌山県支部

宮島議員の活動について報告があった。

第 38 回和歌山県医学検査学会

開催趣意書・募集要項を発送したと報告があった。
企業展示・広告等の募集状況の報告があった。
学会前日のスケジュール説明があり承認された。

審議事項

① 第 39 回和歌山県医学検査学会開催地について

施設の数や会員数を考え均等に割るとすれば

A：市内（紀北含む）

C：紀南（北南）

A：市内（紀北含む）

B：紀中

A：市内（紀北含む）

C：紀南（北南）

の順番で学会開催地を行うと報告し、裁決を行った結果承認された。

② 定時総会の会員提出議案について

議決権行使書には会員提出議案の内容がわからないため議決権行使から除外している。定時総会時に会員より提案があった場合は、規定上無効となりえる。

和臨技では、日頃から会員より地区理事に対して提案や質問を受けている事から
次回の和臨技定時総会より、会員提出議案を削除すると報告し、裁決を行った結

	<p>果承認された。</p> <p>③ 検査説明・相談のできる臨床検査技師育成事業の継承事業として、『医療現場における職能向上のための臨床検査技師育成講習会企画担当者研修会』開催に伴う派遣について、久保理事が推薦され承認された。</p> <p>④ 地域ニューリーダー育成研修会開催に伴う派遣について、神藤理事が推薦され承認された。</p> <p>⑤ 日臨技全国学会のあり方について意見を求めた結果、常務理事会と理事会は同じ意見であり裁決を行った結果、以下のように承認された。</p> <p>(1) 全国学会開催地選定方法についてはガイドラインに合致すれば開催場所はどこでも構わない。</p> <p>(2) 学会長の人選について、担当都道府県技師会より選出する。</p> <p>(3) 学会参加費については、会員と非会員では差を付けるが、演題提出時は筆頭発表者は会員、共同発表者は非会員でも掲載追加金は発生しない。</p> <p>⑥ 学術部よりサテライト会場を用いた研修会運用規定（案）について説明があり、裁決を行った結果承認された。</p> <p>⑦ 研修会共催開催の申請について、学術部より説明があり、微生物・血液研究班よりベックマン・コールター社との共催による勉強会の申請があり、2班合同の勉強会を申請しており予算的に和臨技単独でも開催可能であるなどの意見もあり、理事会にて審議し裁決した結果否決となった。</p> <p>⑧ 第38回和歌山県医学検査学会会場レイアウト案の説明があり裁決を行った結果、和歌山県医学検査学会に一任と承認された。</p> <p>⑨ 平成29年度保健衛生（医事）功労者知事感謝状の推薦者について表彰委員会より、今年度の受賞候補者は、脇村小津江理事と報告があり承認された。</p>				
記録作成	平成29年8月29日	氏名	神藤 洋次	提出	平成29年8月31日

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可